



女性ならではの優しい気持ちと心意気で、今日もハンドルの握るお一人。どこかで会ったことがあったら、気軽に声をかけてください。

高野さんほど、「運転士になりたい」という強い思いはなかったという石坂さんですが、「大型免許を取ったときの教習も順調でしたし、私、この仕事に向いてたのかな?」とは思っていませんよ」と微笑みます。

女性が当たり前前にいる 職場になつてほしい



女性ドライバーの高野由美さん(左)と石坂笑美さん(右)

女性ドライバーだからという今回の取材に、ちよっと戸惑っていた様子石坂さん。「男だから、女だから、という職業は今ほとんど少なくなっていると思いますし、もっと女性ドライバーが当たり前になるといいなと思いますね」

山梨交通トラベル事業部の ツアー企画



山梨交通トラベル事業部の飯塚正人さん

山梨交通のトラベル事業部は、バスツアーなどを企画している部署。恒例となっているツアーとしては、毎年年末年始に催している、山梨から東京その他の地域を訪れるお買物ツアーが人気を博しています。

伊勢は、昨年の伊勢志摩サミットの影響もあり、今注目を集めている観光地。4年前に遷宮をした伊勢神宮は、もちろん定番のパワースポットですが、見どころがもうひとつあると言います。「みなさん、伊勢志摩サミットの二ユースが流れた際、伊勢湾を一望できる場所からの映像をご覧になったと思います。その場所がオススメなんです。伊勢神宮に行く人もたいてい、ここは遠くて訪れないという地です。バスツアーだからこそ実現できるルートなので、ぜひみなさんにもこの眺望を味わっていただきたいです」

山梨交通 トラベル事業部
ツアーなどのお問い合わせは、
TEL 055-222-1300
(受付は平日9:00~17:00)
●公式サイト
http://yamanashikotsu.co.jp/

山梨交通バスの 女性ドライバーに聞く

ハンドルを握るのは 女性の仕事?

お話を聞いたのは、石坂笑美さん(27)と高野由美子さん(42)。運転士2年目の石坂さんは、身延方面の路線バスとスクールバスを担当。今年から運転士になった高野さんは、中央市豊富・笛吹市奈良原方面の路線バスと中央市のコミュニティバスを担当しています。

石坂さんは、以前はレタスを育てる会社で働いていました。3トントラックを運転するために中型免許が必要となった際、どうせ取るならと大型一種免許を取得。そして今後のことも考えて、さらに旅客運送ができる大型二種まで取ったのだそう。

その会社では、男性が荷を運び女性がトラックを運転していましたが、そこから石坂さんは「ハンドルを握るのは女性の仕事なんじゃないか」と考えるようになり、農家などでは、男性が車を運転し、女性が農作物を運



山梨27

高野さんがよく見られますが、「あれで逆じゃないかと思うんですよ」と石坂さん。言われてみれば、たしかに理にかなっています。

山交タウンコーチには現在、バスの女性運転士が2名います。ドライバーになったきっかけや、女性ドライバーならではの経験や気配りなどを聞くため、山交タウンコーチを訪ねます。あわせて、トラベル事業部で年末年始のバスツアーの計画を少しだけのぞくことができました。